

12/4 愛嬌たっぷりの“丑”が完成
蚕桑地区で手芸教室



蚕桑地区コミュニティセンターでこの日、手芸教室が開催され、参加者ひとりひとりが2021年の干支である“丑”の置き物を製作しました。

これは蚕桑地区で毎年行われているイベントで、参加者の皆さんは今年も楽しみにしていた様子。すべて手縫いで作業が進められ、細かい部分に奮闘しつつおよそ5時間かけて作品を完成させました。どの作品もとても可愛らしく仕上がり、参加者の皆さんはとても満足した様子で、「作り方を覚えたので、家で作って孫にプレゼントしたい」と話していました。自らの手でつくった愛嬌たっぷりの“丑”の置き物を飾り、素敵な新年を迎えられることでしょう。

最後の飾り付け。慎重に行っています▶
とても素敵な作品に仕上がりました▼
最後に皆さんで記念撮影



12/10 米づくりのしめは…しめ縄づくり！
東根小学校でしめ縄づくり体験

東根小学校5年生の児童たちはこの日、自分たちが収穫した稲わらを使ってしめ縄づくりの体験をしました。

しめ縄は、お正月に玄関や神棚などに飾り、良い新年を迎えられるようにと願うものです。児童たちは、地元の職人の方々から作り方を教わりながら作業をすすめ、約2時間かけてようやく完成。体験した児童は、「簡単そうに見えたけど、やってみたらとても難しかった」と話しました。児童は、春の田植えから冬のしめ縄づくりまですべてを体験し、稲作が日本人にとってかけがえのない伝統であることを学びました。



◀御年90歳の佐藤徳也さん(畔藤)が子どもたちに作り方を指導。
▼完成した作品と一緒に記念撮影



12/25 来年も良い年になりますように
深山焼の縁起物干支

深山工房「つち団子」(金田利之さん)では、2021年の干支である「丑」の置き物の制作が最盛期を迎えていました。

2001年の巳年から製作がはじまり、年々注文が増えているという干支の深山焼。ひとつひとつ手作業でつくられた作品は、どれも色や形がそれぞれ異なっています。今年も楽しみにしている方のために丁寧に作りあげていく金田さん。その愛くるしい姿の置き物には、「コロナ禍を乗り越えた先をしっかりと見据えて、牛のようにゆっくりと着実に前へ歩んでほしい」との願いが込められています。



焼きあがった“丑”の置き物

TOPICS

トピックス

&

まちのホットな話題
をお届けします！

スポーツ

SPORTS

11/26 コミュニティ・スクール（CS）の実施に向けて 学校運営協議会地域学習会の開催

来年度から始まる学校運営協議会制度の地域関係者向けの学習会が、町産業センターで行われました。

本町出身で小国町CSディレクターの渋谷洋司さんが、学校運営協議会の役割や効果について事例を交え講演。変化の激しい社会では、子どもたちのために、保護者と地域、学校が一体の「地域総がかり」の教育が重要と語る渋谷先生。導入7年目の小国町では、この取り組みにより、学校のみならず、統合で学校がなくなった地域においても活気が沸き、地域づくりの観点でも効果は大きいとのこと。本町でも、学校運営協議会を立ち上げ、地域に合った協議会の形を皆さんとともに考えていきます。



地域学習会の様子

11/28 アスリートはこうして生まれる オリンピック講演会を開催

今年度のオリンピック講演会は、本町と西置賜のスポーツ振興懇談会を兼ねて中央公民館大会議室で行いました。

アルバービルオリンピックのスキージャンプ複合男子団体金メダリストの三ヶ田礼一（岩手県）氏から、ご自身のオリンピックとしての経験から世界で活躍する選手を育てるために大切なことについてご講演いただきました。三ヶ田氏は、技術の向上よりもあいさつや返事、姿勢、身だしなみといった礼儀を大切にする「人間力」を高め、自己管理をしっかり行っていたと言います。そして何より重要なことは、自らの意思で行動を起こすこと、さらに、強い気持ちを持ち続けることだと訴えられ、参加者も一様に深く頷いていました。

獲得した金メダルを間近で見せて
いただきました
選手の育成法を熱く語られました▼

